

グローバル経済社会が抱える課題

(国連開発アジェンダ2030)

貧困、飢餓、健康と福祉、教育、性差別、上下水道、エネルギー、雇用の質と経済成長、イノベーションとインフラ、格差、製造責任と消費責任、都市とコミュニティ、気候変動、水産資源、陸上資源、平和と正義、国際協調

我が国の現状

課題 (弱み)

人口減少・少子高齢化
→雇用者の減少
→国内市場の縮小
→社会保障の持続可能性

生産性の低迷・地方経済の疲弊
→格差拡大への懸念
エネルギー・環境制約
→持続可能性への懸念

資源 (強み)

質の高い「リアルデータ」
(医療データ、現場の暗黙知等)
世界シェアの高い製品群
(自動車、ロボット、センサー等)
品質に厳しい消費者市場

独自の価値観文化等

第4次産業革命 (IoT、BD、人工知能、ロボット) によるパラダイムシフト
(従来対応できなかった「社会的・構造的課題=顧客の真のニーズ」に対応可能に)

グローバルな課題解決に貢献。同時に新たに広がるフロンティアの発掘・獲得競争に打ち勝つ。
革新的サービスの創出と生産性向上で中間層の仕事を充実。

1 戦略分野の特定と具体的戦略の策定

具体化

日本の基本戦略・産業構造/就業構造 (マクロ全体像)

リアルデータ (第2幕) の幕開け、日本は今「分かれ目」

中間整理 (4月)

戦略分野①

健康を維持する

(健康・医療・介護)

1. 目指すべき将来像(2030年)

<例>

- 個別化医療・健康ケアで健康寿命10歳延伸 (バイオ、ゲノム編集)
- 医療・介護地域格差ゼロ (AI、IoT等)

～どんな産業の姿か?
～一人一人の暮らしは?
～どんな社会となるのか?
(技術革新、製品・サービス等)

2. 目標逆算ロードマップの策定

3. 突破口プロジェクト (規制制度改革等)

戦略分野②

移動する

(モビリティ)

1. 目指すべき将来像(2030年)

<例>

- 自動走行で移動弱者ゼロ (国内700万人)、事故死者ゼロ (世界125万人)
- 災害時の物資輸送等の緊急対応が●日以内に
- 渋滞による経済ロス、環境負荷を●削減

2. 目標逆算ロードマップの策定

3. 突破口プロジェクト (規制制度改革等)

戦略分野③

スマートに手に入れる

(ものづくり・保安・物流小売・農業)

1. 目指すべき将来像(2030年)

<例>

- 「モノ」の「サービス化」便利で買いたくなる新たなものづくり
- 多くの新たな担い手・ベンチャーの誕生
- デリバリー・サプライチェーンの効率性革命
- 新たな部素材の誕生
- 高付加価値農作物でグローバル市場を獲得

2. 目標逆算ロードマップの策定

3. 突破口プロジェクト (規制制度改革等)

戦略分野④

スマートに暮らす

(住宅・エネルギー、街作り)

1. 目指すべき将来像(2030年)

<例>

- 1家に1台サービスロボットが普及。
- 家庭のリアルデータを集めて、多様な革新サービスへ (エネルギーのデマンドレスポンス・高齢者の見守り・商品購買予約のサポート等)
- 暮らしやすく環境にも優しい最先端のまちづくり

2. 目標逆算ロードマップの策定

3. 突破口プロジェクト (規制制度改革等)

リアルデータプラットフォームの構築：サイバー

協調しつつ賢くなり、人間を支える様々なタイプのロボティクス：フィジカル

基盤的インフラ (人材、Fintech、データ・ネットワーク、技術・イノベーション、行政等) + グローバル展開

中間整理 (4月)

2 新たな経済社会システムの提示/具体的アクションプランの策定

具体的なアクション

社会保障システム (医療、介護、所得再分配)

人材育成・活用システム (雇用、労働、教育)

経済の新陳代謝システム (コーポレートガバナンス、知財、競争、産業再編、ベンチャー)

地域経済社会システム (中小企業、観光、スポーツ等)

具体的な制度改革の実現

第4次産業革命に対応する新たなグローバル・レジーム

横断的取組

- ✓ データ利活用促進
- ✓ 人材育成・獲得、雇用システム柔軟化
- ✓ イノベーション・技術開発
- ✓ ファイナンス機能強化
- ✓ 産業構造・就業構造転換
- ✓ 中小企業・地域経済への波及
- ✓ 経済社会システム高度化